

≡**Stax**≡®  
**HALLMARK OF HIGH FIDELITY**  
**EAR-SPEAKER & INTEGRATED AMPLIFIER**  
**SR-3 & SRA-3S**

顧客は試験台ではない。SRは発売前に最終的な耳の試験を合格済み、自信をもって、音楽愛好家におすすしめします。

**音楽評論家の立場から……**  
 新しい技術や製品に興味を持たないのはレコードへの積極的関心が無いからだ。スタックス社の新しいイヤ・スピーカーSR-3は音の分離の明快さに加え、響きがまことに柔かく音楽的である。耳のそばで鳴っているのに、聞いているうち、いつしか大ホールで音楽に浸っている気分させられる。音源の距離感や音のバランスが不思議なほど良いのである。私のように幾時間もつづけてレコードを聴くものにSR-3は実に救いとさえ言える。レコードの美しい音楽をひとり心ゆく迄楽しむ天国がここにある。SR-3のような新しいオーディオの楽しみを発見するのにもレコード愛好家の大きい幸福である。  
 (村田武雄氏、国立音大教授、評論家)

バッハ時代の殿様は、眠れぬ夜、音楽家にチェンバロを弾かせて就寝したという。私は延長コードを寝室に引張ってSR-3でチェンバロ音楽を楽しみつつ、安らかに眠りに就くのです……。  
 (皆川達夫氏、立教大学教授、評論家)

**オーディオ専門家の立場から……**  
 SR-3のよさ、それは第一に、ヘッドフォンらしさがなく、音量ゆたかでダイナミック・レンジが広く、ffがよく伸びる。歪っぱさやカラリゼーションが殆ど無い。私が最も気に入っている点は、高音域に目立ったピークのないことと、トランジエント特性のすばらしさにある。ファートとさわやかにハイが伸び、カンにさわる刺戟的な音がない。たいていのスピーカ

ー・システムは顔マケである。SR-3は嬉しい！  
 (岡 俊雄氏、評論家)

古典音楽のみならず、プラス合奏、モダン、ハワイアン、ウェスタンと、やたら雑多なプログラムを、あちらも立て、こちらも立てようと欲張ると、莫大な費用と根気がないとモノにならない。それがSR-3だと、どんなプログラムでもソツなく再生してしまう。今迄きいた再生音のうち、一番まともで何でも安心して聴ける音質、というのがSR-3である。  
 (山田定邦氏、音楽之友サービスクンター重役)

ヘッドフォンはむかし通信機に使われたレシーバー時代から嫌いだった……。ところが、その店のコンサートを私が受持っているK楽器店で、「すべてのパーツで、価格以上の価値あるのは、ズバリSR-3だけです」と言うことで、それが私をヘッドフォンSR-3に結びつけることになった……。その音の一粒一粒が、何とクッキリと、何と鮮かに拡がり溢れでることか。今やSR-3は音楽を楽しむときの最大の武器になっている。  
 (岩崎千明氏、オーディオ評論家)

羽毛のように軽く、真綿のように柔かく、ダイヤモンドのように透明で深い輝きのあるSR-3の音、これはスピーカーからは絶対に出でこない、プリームのリュートの美しさに溺れ、ソニー・ロリンズのハードドライビングに痺れる私だが、



この多情を満足させてくれるのがSR-3なのである。  
 (菅野冲彦氏、評論家)

**音楽愛好家の立場から……**  
 私はSR-3の世界が単にハタ迷惑の防止、などという消極的なものでないことを、驚嘆の思いで痛感している。正にスピーカーでは及びもつかない《音の小宇宙》の開発だった……。文字通り、天の音とはこれか、と言いたい音の泉。虫メガネで拡大した音楽美。——こんな音楽の明晰さの世界は、ステージでさえ一度も持ったことがない。  
 (荻昌弘氏、評論家)

良い音を字で表わすのは無謀だが、このSR-3は、スピーカーとちがって、音の歯切れが抜群で、レンジが広く、今迄聞えなかったようなデリケートな細部の音まで再現できるし、個々の楽器の距離までわかる。これはどんな良いスピーカー・システムでも不可能に近い。  
 (岡部冬彦氏、漫画家)

イヤ・スピーカーSR-3を、新発売の専用プリアンプ・アンプSRA-3Sと組合せると、超小型で高性能のステレオが完成します。お手持ちのステレオ装置にSR-3をつなぐ場合には、アダプターSRD-5をご使用ください。  
 SR-3/Y7,200, SRA-3S/Y23,000, SRD-5/Y4,000

\*——カタログ贈呈S-2係  
**STAX**  
 スタックス工業株式会社  
 東京都豊島区雑司が谷1-25-5  
 郵便番号 171  
 PHONE (981)-7227(代)

- 特約店・取扱店 ●東京=ヤマギワ電気(03)-253-2111 国立楽器(0425)-73-1111 ユニオン電気(03)-294-6766 ●札幌=大阪屋(0122)-22-0181 ●帯広=キロコ電気(01552)-3-8108 ●仙台=小松電気(0222)-22-8171 ●福島=フルヤマ電気(02462)-4-2972 ●新潟=ニイガタ・オーディオ(0252)-22-3362 ●金沢=中部無線産業(0762)-61-8800 ●横浜=横浜サウンド(045)-251-7749 ●名古屋=名古屋無線(052)-262-6521 カト無線(052)-241-7336 栄電社(052)-561-4571 ●京都=十字屋河原町店(075)-221-4905 アサヒ・ムセン(075)-23-4475 ●大阪=河口無線(06)-631-0321 阪神百貨店ステレオ部(06)-361-1201 ●福山=音波楽器(0849)-23-6150 ●福岡=シンフォニー(株)(092)-77-0003 ●北九州=北九無線(093)-52-4448